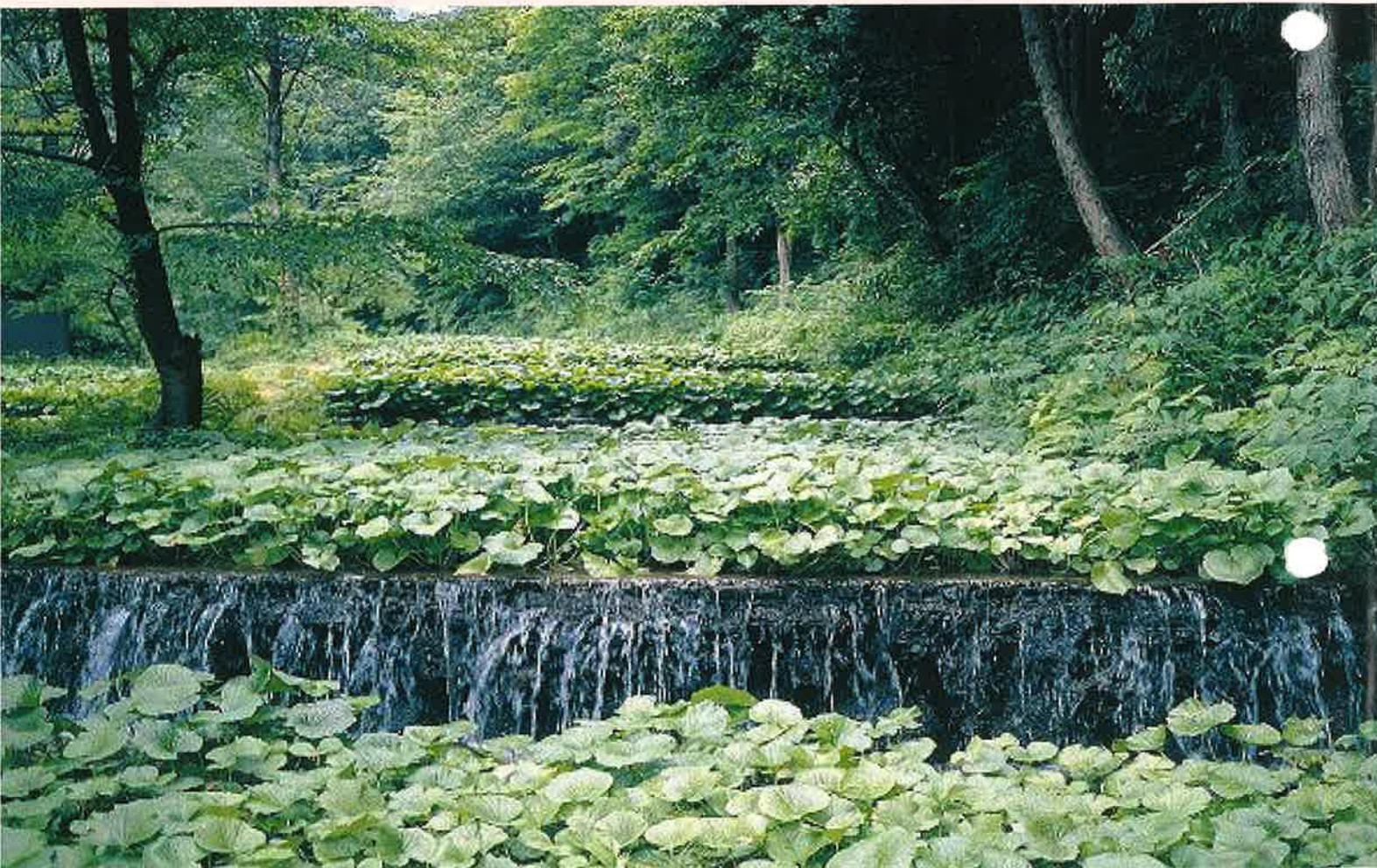


会 報

鳥 取

第 21 号

2009年 8月



(倉吉市関金町小泉のわさび田)

目次	就任の挨拶	2	健康シリーズ	15
	平成21年度第1回通常総会	3	趣味のひととき	16
	平成21年度事業実施計画	4~6	シルバー人材センター紹介	17~18
	シニア就業支援プログラム	7	会員の広場	19
	平成21年度事業実施状況	8~10	講習会に参加して	20~21
	平成20年度下期事業実施状況	11~14	表紙のことば	22

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

就任ごあいさつ



鳥取労働局 職業安定部長

手計高志

7月1日付けで鳥取労働局職業安定部長を拝命いたしました「手計^{てばか}」
でございます。

皆様には、高齢者の就業対策の推進について、日頃より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、最近の雇用失業情勢は全国的に大変厳しい状況が続いており、県内の6月の有効求人倍率は0・45倍と、前月より0・01ポイント、前年同月より0・25ポイント低下するなど、引き続き低水準で推移する中で、高齢者の雇用対策はますます重要となっております。就業意欲の高い高齢者に対する雇用の場の確保が求められているところですので。

また、急速な高齢化の進展、とりわけ団塊世代が職業生活からの引退過程に入るなど本格的な高齢社会を迎えており、高齢者の地域における多様な就業・社会参加ニーズに応じた機会を、確保・提供していくことが必要となっております。

さらに、全国平均より早く高齢化が進行する本県にあっては、65歳以上の方の割合が平成27年には29・1%になると見込まれており、地域の日常生活に密着し、活力ある地域社会づくりに貢献するシルバー人材センター事業は、その重要性が一層増していくことと考えます。このような状況の中にあつて、本県のシルバー人材センターが、地域の就業希望者の様々なニーズに対応できる「総合的就労支援センター」として十分にその役割を果たし、シルバー人材センター事業が着実に進展しておりますことは、皆様の日頃からの熱意とご努力の賜と、深く敬意を表する次第であります。

鳥取労働局といたしましても、シルバー人材センターの重要性を改めて認識し、県及び市町村と連携を図りながら、引き続きシルバー人材センター事業を積極的に推進していく所存ですので、今後とも一層のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりますが、シルバー人材センター事業の今後のますますのご発展と、職員並びに会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



平成二十一年度 第一回通常総会開催

平成二十一年度第一回通常総会が6月9日、鳥取市において会員の代表及び来賓のご出席を賜り、開催されました。

宇野連合会会長の挨拶に始まり、来賓としてご出席いただきました鳥取労働局の橋本職業安定部長からご祝辞をいただきました。

議長には、社団法人南部広域シルバー人材センターの田子理事長が選出され、議事が進められました。

議案

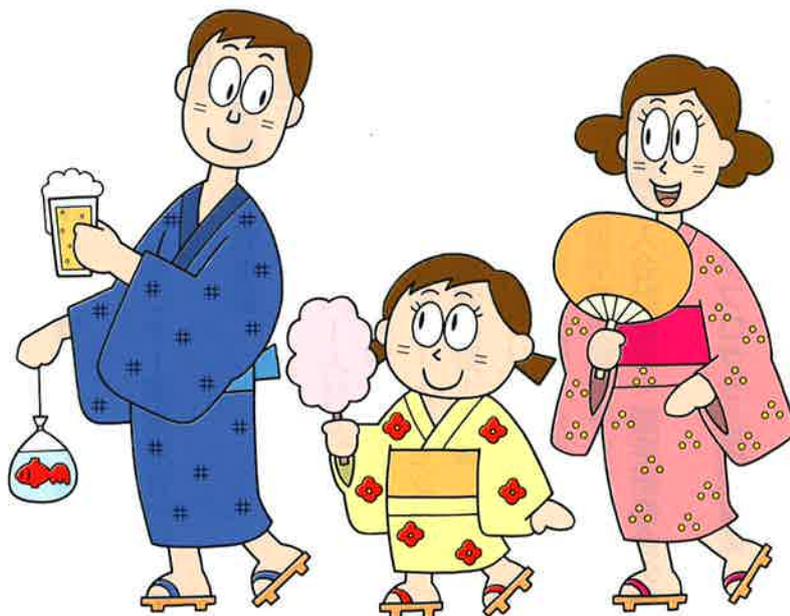
第一号議案 社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会定款の一部変更について

第二号議案 社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十一年度事業報告(案)及び収支決算報告(案)について

第三号議案 社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十一年度収支補正予算書(案)について

第四号議案 第六期理事及び監事の選任について

役職	氏名	所	属	新・再任
会長	宇野 治巳	(社)米子広域シルバー人材センター		再任
副会長	木島 敏行	(社)鳥取市シルバー人材センター		再任
副会長	中林 正樹	(社)倉吉市シルバー人材センター		新任
常務理事	伊藤 静夫	(社)鳥取県シルバー人材センター連合会		新任
理事	西村 岩市	(社)境港市シルバー人材センター		再任
理事	田子 貢	(社)南部広域シルバー人材センター		再任
理事	小林 實夫	(社)智頭町シルバー人材センター		再任
理事	谷口 幹彦	(社)岩美町シルバー人材センター		新任
理事	山浦 基治	(社)日南町シルバー人材センター		再任
理事	有田 勝徳	鳥取県中小企業団体中央会専務理事		再任
監事	足立 春人	(社)湯梨浜町シルバー人材センター		新任
監事	足立 慎夫	(社)琴浦町シルバー人材センター		新任



平成二十一年度 事業計画書

基本方針

本県のシルバー人材センター会員は四千人余りとなり、各地域において、地域に根ざした様々な事業活動を行っておりますが、従来の庭木剪定や草刈りといった分野だけでなく、施設の管理や高齢者の軽度生活援助・子育て支援など幅広い分野で活躍し、少子高齢化の中にあつて、シルバー人材センターの果たす役割は今後更に重要となり、地域における高齢者の多様な社会参加ニーズを満たす場として益々期待され、積極的な取組を実施していくところであります。

国は平成二十一年度から三年間の緊急雇用創出事業を実施することとなっておりますが、この事業にも積極的に参加して、シルバー人材センターとして新規会員及び就業の場の確保を図っていくこととします。

また、市町村の政策プランに連携して実施する、教育、子育て、介護、環境分野の企画提案方式事業の推進を行うほか、企業等のニーズに対応した高齢者・団塊世代の専門知識・能力を活かすことと、適正就業の観点からも、更にシルバー登録会員による労働者派遣事業を推進することといたします。

なお、「鳥取県シルバー人材センター事業

活性化計画」は対象期間の三年目となりますが、計画に掲げた会員及び就業機会の拡大等の総合対策の推進を図り、鳥取県シルバー連合は活動拠点センターと一体となり、次の事業実施計画により、シルバー事業の活性化・充実に向けて取り組むことといたします。

事業実施計画

一、安全・就業推進事業

- (一) シルバー事業の基本方針である安全・適正就業を推進するため次の事業を実施する。
- (二) 安全・適正就業推進委員会の開催
- (三) 安全パトロール担当者会議の開催
- (四) 安全就業研修会の開催
- (五) 安全パトロール指導員による巡回相談

二、普及啓発事業

- (一) 連合会機関誌の発行(年二回)
- (二) シルバー事業普及啓発月間(十月)の行事
- (三) ポスター、各種普及啓発用リーフレットの作成・配付
- (四) ホームページの充実

三、就業開拓事業

- (一) 就業機会開発推進委員会の開催
- (二) 就業開発推進委員の配置
- (三) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

四、交流研修事業

- (一) 鳥取県シルバー経験交流大会
- (二) 連合役員研修

五、シルバー派遣事業

- (一) シルバー派遣事業の推進
- (二) 派遣事業の円滑な推進を図るため、実務を中心とした研修会の開催

六、福祉・家事援助サービス

- (一) 研修会の開催
- (二) 普及啓発

七、指導相談事業

八、鳥取県シルバー人材センター事業推進連絡協議会の開催

九、シルバー人材センター事業活性化計画の推進

十、企画提案方式事業

- 実施センター
- (社)鳥取市シルバー人材センター
- (社)米子広域シルバー人材センター
- (社)倉吉市シルバー人材センター

- (単独型複合分野)介護・子育て
- (単独型複合分野)介護・子育て
- (単独型複合分野)介護・子育て

- (単独型単独分野)介護
- (単独型単独分野)子育て

十一、新公益法人会計基準・認定研修会の開催

十二、シニアワークプログラム地域事業

- (一) 啓発事業
- (二) 総合的雇用就業情報提供事業
- (三) 技能講習事業
 - ① 長期講習・十五会場で実施
 - ② 短期講習・五会場で実施
- (四) 職場体験講習事業
- (五) 職業紹介事業



十三、シニア就業支援プログラム事業
 ワークショップの実施、高齢者の就業
 ニーズと企業等の人材ニーズのマッチング
 を図ることを目的とする事業

十四、諸会議・研修会の開催
 総会・理事会・事務局長会議及び関係行
 政機関等との連絡会議を実施

別表（平成二十一年度）シニアワークプログラム地域事業実施計画

短期講習		長期講習	
開催場所	開催場所	開催場所	開催場所
室内装飾アシスタント講習	米子市・倉吉市・北栄町	造園アシスタント講習	鳥取市・米子市
造園アシスタント講習	南部広域・智頭町	オフィスクリーニング補助講習	鳥取市（二回）
緑地管理アシスタント講習	倉吉市	訪問介護員養成研修2級課程	鳥取市・米子市・倉吉市
保育・子育て支援講習	境港市	社会保険業務補助講習	鳥取市・米子市・倉吉市
警備業務補助講習	鳥取市・米子市	緑地管理アシスタント講習	倉吉市

平成21年度シニアワークショッププログラム地域事業実施計画

シニアワークショッププログラム地域事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が活動拠点の協力のもと、多種多様な技能講習を事業主団体と連携をはかりながら実施する事業です。

講習の種類は、長期講習(40時間を超える講習)と短期講習(20時間を超え40時間迄)の2種類となります。

平成21年度は、長期講習15回(介護講習3回を含む)、短期講習5回を計画し、順次実施しております。

1. 長期講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
技能講習						
経理事務補助	米子会場	6月 9日～ 6月19日	9日間	25名	18名	18名
造園アシスタント1	鳥取会場	6月22日～ 7月 2日	9日間	25名	30名	29名
保育・子育て支援	境港会場	6月24日～ 7月 3日	8日間	20名	13名	13名
経理事務補助	鳥取会場	7月13日～ 7月24日	9日間	25名	25名	25名
社会保険業務補助	米子会場	9月 2日～ 9月11日	8日間	20名		
緑地管理アシスタント	倉吉会場	9月 7日～ 9月16日	8日間	20名		
警備業務補助	鳥取会場	9月 9日～ 9月18日	8日間	20名		
オフィスクリーニング補助	米子会場	9月28日～10月 7日	8日間	20名		
社会保険業務補助	鳥取会場	9月30日～10月 9日	8日間	20名		
警備業務補助	米子会場	10月 8日～10月20日	8日間	20名		
社会保険業務補助	倉吉会場	11月 4日～11月13日	8日間	20名		
造園アシスタント2	鳥取会場	11月 9日～11月19日	9日間	25名		
介護講習(2級課程)						
訪問介護員養成研修	米子会場	6月26日～ 8月 6日	23日間	20名		
訪問介護員養成研修	倉吉会場	8月20日～10月 2日	23日間	20名		
訪問介護員養成研修	鳥取会場	10月 6日～11月17日	23日間	20名		

2. 短期講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
室内装飾アシスタント	米子会場	6月 2日～ 6月 9日	6日間	20名	18名	15名
造園アシスタント	智頭会場	8月31日～ 9月 4日	5日間	20名		
造園アシスタント	南部会場	10月26日～10月30日	5日間	20名		
室内装飾アシスタント	北栄会場	1月25日～ 1月29日	5日間	20名		
室内装飾アシスタント	倉吉会場	2月 3日～ 2月 9日	5日間	20名		



平成二十一年度 事業実施状況

第一回通常理事会

五月二十七日(金) 鳥取市において開催。



議案

第一号議案

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十一年度事業報告(案)及び収支決算報告(案)について(監査報告)

第二号議案

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十一年度収支補正予算書(案)について

第三号議案

第六期理事及び監事候補者選考委員(案)について

その他 連合会給与規程の改定(案)について

議案は、いずれも原案どおり承認されました。

安全適正就業推進委員会

七月七日(火) 倉吉市で開催。

議題

- (一) 平成二十一年度安全・適正就業推進事業実施計画について
- (二) 平成二十一年度障害事故等発生状況及び安全・適正就業パトロール実施状況について
- (三) 平成二十一年度活動拠点センターの安全・適正就業の取り組み状況について
- (四) その他



シルバー派遣事業研修会

七月二十三日（木）米子市で開催
議題

- (一) 全国シルバー派遣事業実務担当者研修会伝達
- (二) シルバー派遣事業の現状について
- (三) その他

平成二十一年度 安全・適正就業研修会

七月十七日、倉吉シティホテルにおいて、出席者九十二名を得て、平成二十一年度安全・適正就業研修会が開催されました。

宇野連合会会長の挨拶に続き、二十一年度の安全標語の表彰が行われ、倉吉市シルバー人材センター遠藤美弥子会員の『安全は、自分で確かめ 守るもの』が優秀賞に選ばれ、入選五作、佳作五作が同時に発表されました。南部広域シルバー人材センター理事長の田子 貢氏による『安全就業について思うこと』の基調講演があり、鳥取県警察高齢者交通安全教育指導員の松岡 博之氏による『高齢者の交通事故防止について』倉吉市長寿社会課認知症コーディネーターの石賀 純子氏の『笑顔のある生活、笑いは奇跡のくすり』の講話がありました。

最後に、米子広域シルバー人材センター職員柳楽 孝鑑氏による『植栽班活動と安全

就業の取組』の事例発表があり、気持ち新たに安全就業の意識を再確認し、研修会を終了しました。



安全就業標語の表彰作品

「優秀作品」

安全は 自分で確かめ 守るもの

遠藤 美弥子

(社)倉吉市シルバー人材センター



「入選作品」

危ないぞ その無理

その慣れ その油断

村田 順三郎

(社)鳥取市シルバー人材センター

一寸待て まった余裕で 防ぐ事故

磯田 孝志

(社)倉吉市シルバー人材センター

事故と無事故は 紙一重

少しの油断で 大きな事故へ

水上 聡

(社)倉吉市シルバー人材センター

さあ今日も 心を引き締め 安全作業

中尾 重成

(社)倉吉市シルバー人材センター

急ぐほど 慣れた仕事に ひそむ事故

坪倉 正明

(社)大山町シルバー人材センター



「佳作作品」

安全の ルール守れば 事故は0

福田 定夫

(社)鳥取市シルバー人材センター

やり慣れた 作業の中に 潜む事故

堀場 正雄

(社)倉吉市シルバー人材センター

就業に あってはならない まあいいか

瀬尾 勝弘

(社)倉吉市シルバー人材センター

今一度 再確認が 身を守る

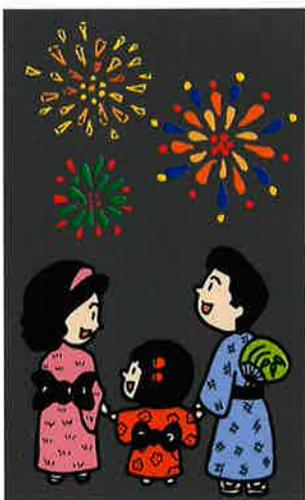
田中 勉

(社)南部広域シルバー人材センター

潜んでる 事故があなたを 狙ってる

岩本 仙子

(社)北栄町シルバー人材センター



平成二十年度 下期事業実施状況

第二回通常理事会

平成二十一年三月十八日（水）倉吉市において平成二十年度第二回通常理事会が開催されました。
審議された次の議案はいずれも原案のとおり承認されました。



議案

第一号議案 平成二十年度収支補正予算書（案）について

第二号議案 平成二十一年度事業計画（案）について

第三号議案 職員給与規定の一部改訂（案）について

第四号議案 平成二十一年度収支予算書（案）について

報告事項について

- ・平成二十年度都道府県連合会会長会議の概要について
- ・平成二十一年度連合会業務執行体制について
- ・平成二十一年度SP事業計画（案）について
- ・平成二十一年度シニア就業支援プログラム事業計画（案）について
- ・平成二十年度事業実施状況等について





第二回通常総会

平成二十一年三月二十六日(木)倉吉市において平成二十年度第二回通常総会が開催されました。

総会は宇野連合会会長の挨拶に続いて、議長に(社)境港市シルバー人材センター理事長長西村岩市氏を選出し次の議案について審議が行われ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

議案

第一号議案 平成二十年度収支補正予算書

(案) について

第二号議案 平成二十一年度事業計画(案)

について

第三号議案 職員給与規定の一部改訂(案)

について

第四号議案 平成二十一年度収支予算書

(案) について

報告事項について

- ・平成二十年度都道府県連合会会長会議の概要について
- ・平成二十一年度連合会業務執行体制について
- ・平成二十一年度SP事業計画(案)について
- ・平成二十一年度シニア就業支援プログラム事業計画(案)について
- ・平成二十年度事業実施状況等について

第二回理事長・事務局長会議

平成二十一年二月六日(金)米子市において平成二十年度第二回理事長・事務局長会議が開催されました。



シルバーバード派遣 実施事務所長会議

平成二十一年二月二十七日(金)倉吉市において開催。

福祉・家事援助サービス 事業推進担当者研修会

平成二十年十月九日(木)倉吉市において、各シルバー人材センターの役員等の参加のもと、福祉・家事援助サービス事業研修会を開催した。

基調講演は、(社)府中町シルバー人材センター業務係長の山代佳世氏により「『シルバー人材センターが行うこれからの福祉・家事援助サービス』と題した講演があり、また、(社)境港市シルバー人材センター福祉・家事担当の永井瑠美子氏の『福祉・家事援助事業の現状と班の活動について』の事例発表が行われました。

引き続き、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会福田庶務主任より企画提案型事業(福祉・家事援助)の取り組みについての説明が行われた。

公演後には、発表等について活発な意見交換が行われた。

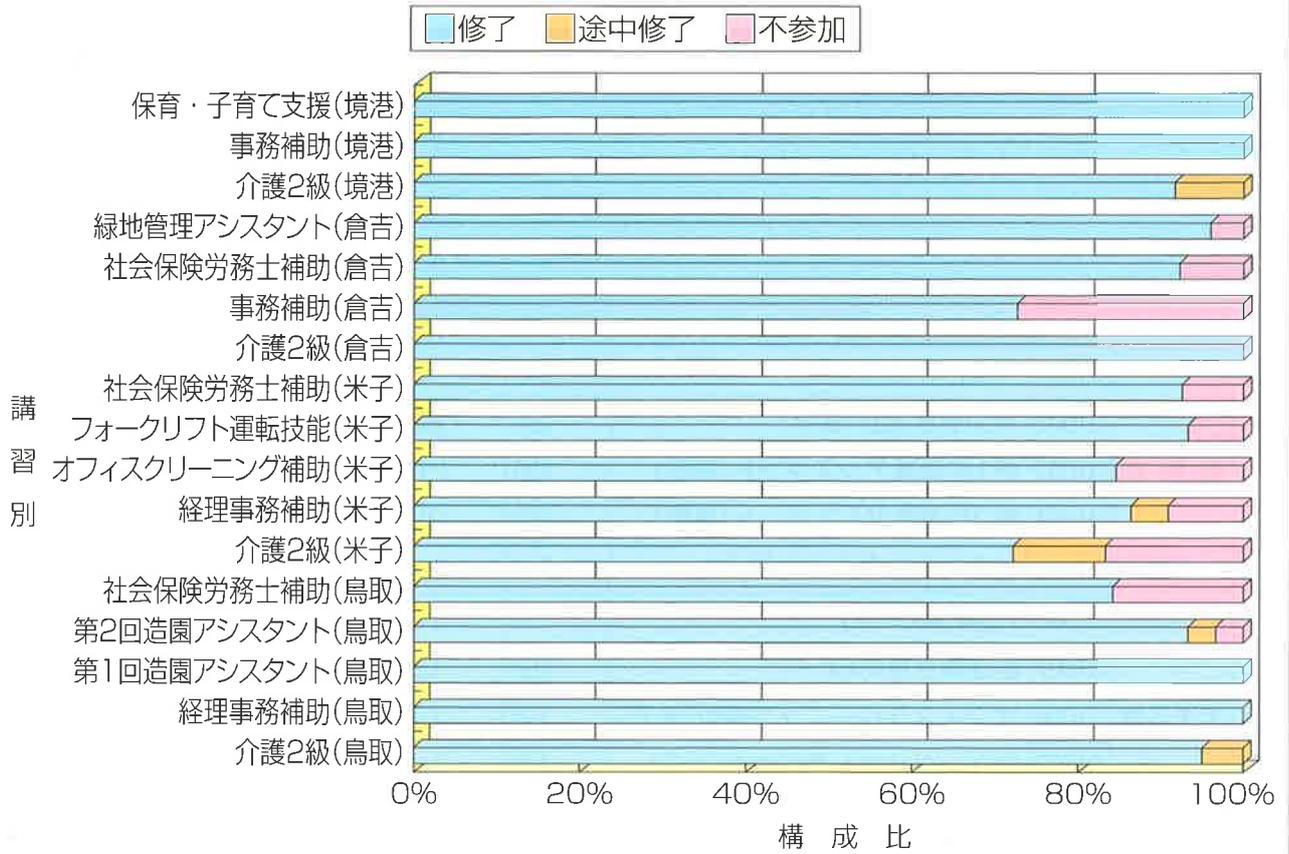
平成20年度SP講習受講者データ

平成21年3月31日現在

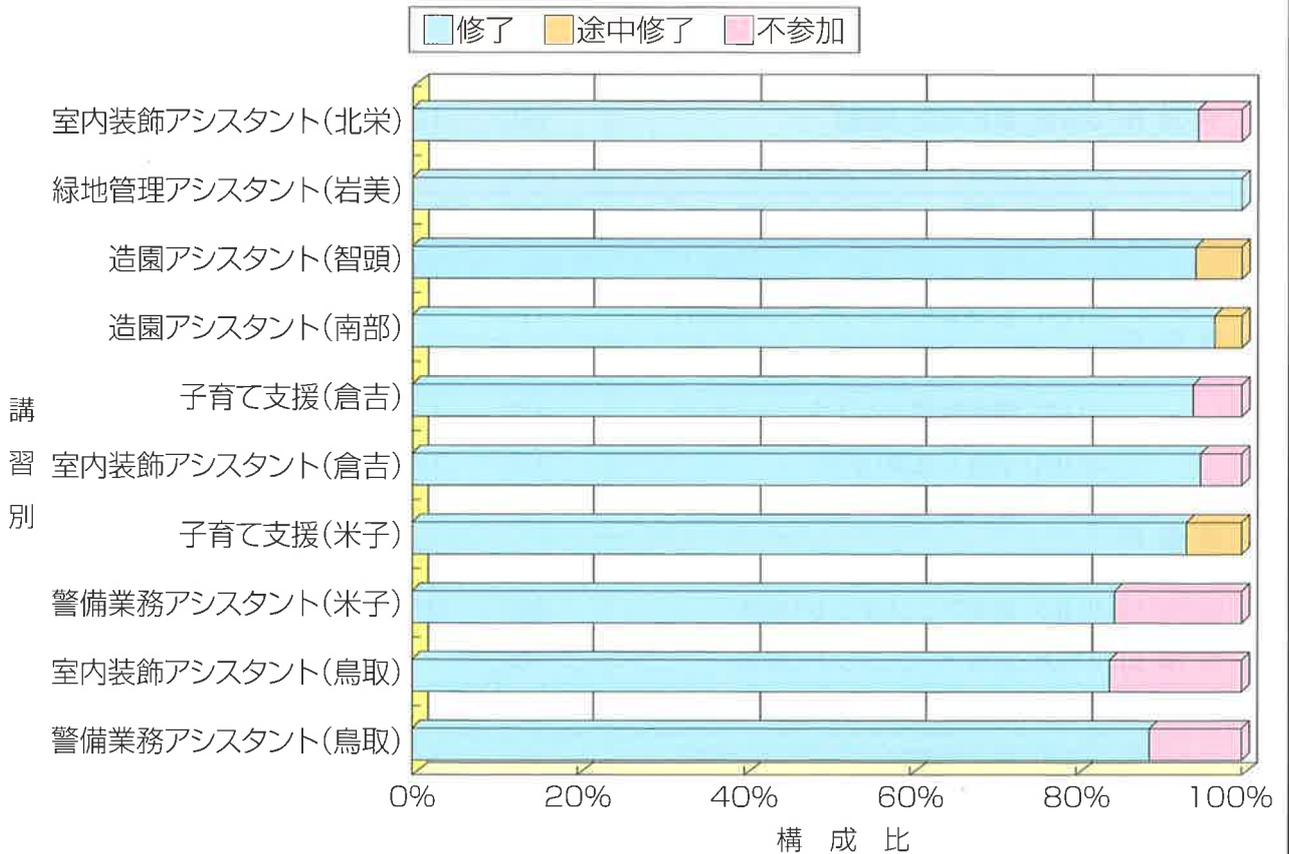
	定 員		受 講 者 内 訳				達 成 率		修了率 (修了者/ 受講者)	進 捗 率		残 講 習
	最 終	現 在	受講者	修了者	途中修了	不参加	受講者/現在定員	修了者/現在定員		受講者/最終定員	修了者/最終定員	
長期	351	351	325	297	6	22	92.6%	84.6%	91.4%	92.6%	84.6%	
短期	165	165	195	181	3	11	118.2%	109.7%	92.8%	118.2%	109.7%	
合計	516	516	520	478	9	33	100.8%	92.6%	91.9%	100.8%	92.6%	

		講 習 名				受講者	修了者	途中修了者	不参加	定 員	受講申込者
長 期	鳥 取 市	31001	介護2級(鳥取)			20	19	1		20	43
		31002	経理事務補助(鳥取)			25	25			22	31
		31003	第1回造園アシスタント(鳥取)			26	26			20	27
		31004	第2回造園アシスタント(鳥取)			30	28	1	1	22	46
		31005	社会保険労務士補助(鳥取)			19	16		3	20	19
	米子広域	31006	介護2級(米子)			18	13	2	3	20	18
		31007	経理事務補助(米子)			22	19	1	2	22	22
		31008	オフィスクリーニング補助(米子)			13	11		2	20	14
		31009	フォークリフト運転技能(米子)			15	14		1	20	16
		31010	社会保険労務士補助(米子)			27	25		2	20	27
	倉 吉 市	31011	介護2級(倉吉)			14	14			20	17
		31012	事務補助(倉吉)			22	16		6	20	22
		31013	社会保険労務士補助(倉吉)			13	12		1	20	13
		31014	緑地管理アシスタント(倉吉)			25	24		1	25	25
	境 港 市	31015	介護2級(境港)			12	11	1		20	12
		31016	事務補助(境港)			12	12			20	12
		31017	保育・子育て支援(境港)			12	12			20	12
		長 期 小 計				325	297	6	22	351	376
		講 習 名				受講者	修了者	途中修了者	不参加	定 員	受講申込者
短 期	鳥 取 市	31101	警備業務アシスタント(鳥取)			18	16		2	15	18
		31102	室内装飾アシスタント(鳥取)			25	21		4	20	25
	米子広域	31103	警備業務アシスタント(米子)			13	11		2	15	13
		31104	子育て支援(米子)			15	14	1		15	15
	倉 吉 市	31105	室内装飾アシスタント(倉吉)			20	19		1	15	20
		31106	子育て支援(倉吉)			17	16		1	15	17
	南部広域	31107	造園アシスタント(南部)			30	29	1		15	30
	智 頭 町	31108	造園アシスタント(智頭)			18	17	1		20	18
	岩 美 町	31109	緑地管理アシスタント(岩美)			20	20			20	20
	北 栄 町	31110	室内装飾アシスタント(北栄)			19	18		1	15	19
		長 期 小 計				195	181	3	11	165	195
		総 合 計				520	478	9	33	516	571

受講者データ（長期講習）



受講者データ（短期講習）



健康シリーズ

『ロコモ予防で健康長寿』



山陰労災病院

整形外科

山本敦史

日本は世界に先駆けて超高齢化社会を迎えています。75歳以上の高齢者での寝たきり・介護の主な原因は運動器疾患が21・5%（二〇〇七年）を占め、今後増加の一途をたどると思われま

そこで、この新しい事態に対応すべく「メタボ」の運動器版として「ロコモティブシンドローム」（略してロコモ）という新しい言葉が注目されています。ロコモとは骨・関節・筋肉などの機能が衰えて生活の自立度が低下し要介護や寝たきりになる可能性が高い状態を表します。その原因としては変形性膝関節症・変形性腰椎症・骨粗鬆症などがあります。

この三つのいずれかを
持つ人は男性の84%、女性
の79%で、すべてを合
併していると考えられる
人は540万人いるそう
です。
またロコモの原因とな
る病気がある日本人が40
歳以上では約4700万
人に達するとの報告があ
ります。自分でできるロ
コモエックとして、以下
の5項目があります。

①片脚立ちで靴下が
はけない

②家の中でつまずいたり滑ったりする

③階段を上るのに手すりが必要

④横断歩道を青信号で渡りきれない

⑤15分くらい続けて歩けない

上記のうち、一つでも当てはまる人はロコモの心配があります。ロコモの予防や対処の方法には骨粗鬆症の進行を抑える薬や関節の痛みを抑える薬などによる薬物療法があります。

また肥満などを防ぐための食事療法も大事です。しかし、歩いたり動いたりする筋力やバランス能力は、動かないでいるとますます衰えていきます。それを防ぐために、次に挙げるロコモーショントレーニング（略してロコトレ）

ロコトレ その2 スクワット

- 椅子に腰かけるように、お尻をゆっくり下ろします。
- お尻を軽く下ろすとそこから始めて、膝は曲がっても90度を越えないようにします。

膝がつま先より前に出ないようにします。膝の曲がる向きは、足の第2趾の方向にします。

足は踵から30度くらい外に開きます。体重が足の裏の真ん中にかかるようにします。

安全のために椅子やソファの前で行いましょう。

深呼吸をするペースで5〜6回繰り返します。これを1日3回行いましょう。痛みを感じた場合は、お尻を下ろし過ぎないようにしたり、机などを支えに使ったりしてみてください。

支えが必要な人は、医師と相談して机に手をつけて行います。

を行いまししょう。

ロコトレその1は開眼片脚立ちです。別名、ダイナミックフラミンゴ療法といいますが、片足立ちは両足立ちに比べ約2・75倍の負荷がかかり、1分間の片足立ち訓練は約53分間歩行に相当するともいわれています。左右1分間ずつ、1日3回行いましょう。

ロコトレその2はスクワットです。あの大女優、森光子さんは今でも1日200回のスクワットをしているそうです。椅子に腰かけるように、お尻をゆっくり下ろしまししょう。

膝は曲がっても90度を越えないようにします。

深呼吸をするペースで5〜6回繰り返します。これを1日3回行いましょう。その他のロコトレとしてはフジオ体操、ウォーキング、各種スポーツなどいろいろな運動を積極的に行いましょう。ロコモにはいろいろなレベルがあり、十分に歩ける人とよく歩けない人ではロコトレのやり方も違います。

自分にあつた安全な方法で行いましょう。膝や腰が痛いからと体を動かす機会が少なくなっていますか。寝たきりや介護を必要とせず、自立した生活ができる健康寿命を延ばすためにも今日から始めてみましょう。

趣味のひととき

目標達成に近道なし「急がば回れ」



（社）鳥取市シルバー人材センター

佐々木 昌彦

楽譜との出会いは50年ぶり。機会があれば挑戦したい中の一つであった。

若いときは、それほど気にもならず社会的荒波にもまれ、気がつくとき大きな穴が空いたように空白を実感するようになっていました。

今しかチャンスはないであろう。高齢者としての癒し・和み・挑戦・願望を取り入れて、今までと変わった角度で社会を見るべし。将来に期待し、親友との連携で譜面読みの挑戦を始めました。

今更とは思ったが、早速楽器店に飛び込み店内をくまなく見て、何が良いか？考えた挙げ句、一番黄金色に輝く楽器が目に入った。

それが、サクソフォンであった。期待と不安が超入り乱れたが、店員に相談す



ると、「簡単！簡単！押さえるだけだから、楽器の中で一番早く上達できるから、心配しなくてよろしい」とのこと。迷わず即決断した。

いよいよ「60スタート」。吹き竹から6年経過。若い男女とともに指導講師に恵まれて、万年青年らしく少しずつではあるが、お玉杓子と運指の連続です。

今になってみますと「目標達成に近道なし」を実感し、肝に銘じながら簡単な奥が大変深いことが少しずつ理解できるようになり、思えば早くから取り組んでいればと高齢者仲間よく慰め合って、親交を深めております。

年一回の大発表会と数回のオリジナルソロ演奏会。また、観衆の拍手の刺激を肝に銘じ、何よりも同じ趣味をもつ仲間との懇親会の回数を重ねる度に、自分なりに達成感を満喫しながら、少しずつ趣味の柱になっていくことを大変重宝し、万年青年を有効に活用し、満喫している昨今であります。

これからの目標は、人前で早く大きな恥をかくこと。譜面を見なくてソロ演奏5曲マスターすること。また、チャンスには必ず挑戦することが「目標達成に近道なし」であろうと思っています。

カンタービレの味が掴めるまで、若葉マークから紅葉マークと続けながら、確りと土台を固めて、癒し・和みの世界に陶醉している毎日です。



シルバー人材センターの紹介

(社)琴浦町シルバー人材センター

事務局長 西 本 公 三

琴浦町は、平成16年9月1日「旧東伯町」「旧赤碕町」が合併して誕生しました。

琴浦町は、鳥取県の中央部に位置し、東西15km、南北19km、総面積二十九・八八平方kmで、南部は秀峰大山から連なる山々に囲まれ、北は日本海に面しています。

大山山系に源を発する豊かな水と緑に恵まれ、景勝地として「大山滝」「船上山」をはじめ、名所・旧跡が多くあり、自然と歴史が調和した町です。

基幹産業の農業は、二十世紀梨・芝・畜産で、県下有数の産地として知られています。

人口は、一万九千五百五十二人で、その内、60歳以上は七千二百七十二人と全体の37%を占め、



高齢化が進行しています。

琴浦町シルバー人材センターは、琴浦町誕生と同時に旧東伯と旧赤碕のシルバー人材センターが合併し、法人化されました。

合併時の会員数は、百六十七名でしたが、その後減少し、現在は百五十九名で粗入会率は22%です。



平成二十年度の受注件数は一千八百十五件、就業延人日八千八百七十二人日、契約金額は四千五百九十一万四千元です。

景気の低迷や公共事業の縮減により企業及び公共からの受注が落ち込みましたが、反面地域住民の方々の協力・支援により、個人の受注が増加したことで、全体では順調な実績を上げることができました。

会員のアンケート調査では、「もっと仕事がしたい」「積極

的に仕事の斡旋をしてほしい」との要望が多くあり、またボランティア活動やサークル活動など社会貢献や親睦を通じた仲間づくりの活動も多くの要望がありました。今後、就業開拓と会員の福利厚生に力を入れていきたいと考えています。



(社)大山町シルバー人材センター

事務局長 安藤 隆博

大山町は、鳥取県西部に位置し、面積約一九〇㎦、人口約一八、六〇〇人、65歳以上約五、八〇〇人(31%)の小さな代表的な少子高齢化の町であります。

主な産業は、農業・漁業・観光ですが、今「大山恵の里づくり計画」を町の主な事業の一つとして取り組みが行われております。

この計画は、県内外に「大山ブランドを広め、新鮮な農水産物(加工品含む)を拡販し、この分野の活性化を図ることが目的の一つでもあり、県内外でイベントへの出店等がなさ

れ、各会場に来店者に好評をいただいております。

平成二十年三月に、山陰道の町内二カ所目となる名和インターが開通し、今年四月に鳥取県西部で初の道の駅「大山恵の里」がオープンしました。



特産物の販売・軽食喫茶・観光情報コーナーがあり、連日賑わっております。是非、一度寄ってみてほしい。

さて、当センターの概況ですが、平成二十年度において、会員百七十人(平均年齢七〇・二歳)、契約金額三千八百七十万円、延就業人員一万百二十四人日、粗入会率二・三三%、就業率八八・八%となっております。

収支計算書

科目	平成20年度	平成19年度	増減
事業活動収入の部	48,068,175	48,201,926	△133,751
事業活動支出の部	47,134,050	48,463,141	△1,329,091
事業活動収支差額	934,125	△261,215	1,195,340
投資活動収入の部	0	10,000	△10,000
投資活動支出の部	506,825	0	506,825
投資活動収支差額	△506,825	10,000	△516,825
当期収支差額	427,300	△251,215	678,515
前期繰越収支差額	3,660,488	3,911,703	△251,215
次期繰越収支差額	4,087,788	3,660,488	427,300

センターの知名度も、発注者様による口コミ等で年々広がりを見せており、受注件数は毎年増加し、感謝しているところです。

しかしながら、課題も多くあり「事業活性化計画目標値」にほど遠い項目が多々あり、今後、会員・役員が一体となって諸課題を克服し、地域社会に喜ばれる魅力あるセンターを構築したいとかがえております。

今後、皆様方のご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



会員の広場



(一)社 八頭町シルバー人材センター
人材センター

本城利弘

私は、昨年八頭町シルバー人材センターに入会させていただいた61歳の若者?です。

設備関係の仕事をしていたので、定年退職後は知識・経験・体験・技術を活かして、今までお世話になった地域社会への感謝の気持ち(ありがとうございませ)を形で恩返ししたいなと思っております。

幸い、気力・体力とも健全で、まだまだやれるという、やる気だけは充実しております。

八ローワークでシルバー人材センターのことを知り、受注作業・会員の年齢層等の説明を受けましたが、今の自分には、この仕事は



もう少し早いなと思い、入会をためらっていません。そんな頃、行政の人から「思い切つて飛び込んでみたら」と背中を後押しされ、入会しました。

入会時、話を聞かせていただくと、多種多様な仕事があり、会員さんも多く、今後は事業の充実を図り、特に技術のある人は、大歓迎との説明を聞き、安心したところです。

今年の4月より、給食の配達・回収業務を週2回しております。給食センターの職員さんと心楽しく仕事をし、誠意を込めて作られた給食を大切に・確実に子供達が喜ぶ顔を思いながら、配達・回収させていただくことが、今ではこの上ない喜びであります。周囲の人達が「ありがとう」と感謝の言葉を掛けてくださることに、今、私も感謝の気持ちを「ありがとう」と表現させていただけます。

私も気力・体力の続く限り、初心を忘れず、人間力の向上を目指し、色々な仕事・作業に取り組み、地域社会の発展に努力します。

「シルバーがシルバーに輝くよう!」

最後に、少子高齢化が進み、社会・地域において益々シルバー人材センターの必要性(生活サポート)を痛感するとともに、自覚と責任感を持つて取り組んでまいります。



講習会に参加して

造園アシスタント講習に

参加して

(鳥取会場)



鳥取市

副田 豊 眞

六月二十二日から七月二日の九日間、造園アシスタント講習に参加させていただきました。

(株)渡辺造園 樹木医 一級造園施工管理技士 伊藤 亨先生を講師にお招きし、講習が実施されました。梅雨とは思えない炎天下での実習。かと思えば、風雨の中カッパを着ての実習でした。講習日程は以下の通りです。

二日間は座学で
・樹木の種類と性質及び年間管理

・病害虫の種類と駆除方法
・樹木の整枝と基礎知識

・用具・器具の使い方
残り七日間は実習でした。

・剪定と整枝方法



・竹垣の作成

受講者には二十年もサツキの剪定を行っている者、松の剪定は既に行っている者等の経験者から如何にも新調仕立ての「ピカピカの腰道具（剪定のこぎり・剪定鋏・摘果鋏）を腰にした未経験者」とがそれぞれ相談したり、またアドバイスを受けながらの実習です。

初日から松の剪定を行いました。松は一般に十年経たないと触らせないとわれていますが、先生に今年の芽、去年の芽と図解で示していただき、鋏を入れるべき場所を良く理解することができ、安心して松を剪定することができました。

また、大鋏（刈り込み鋏）を使った生垣の刈り込みも行いました。スッキリした出来映えを見ると気持ちの良いものです。

また、先生が剪定する樹一本のみを見るのではなく、庭全体の姿・バランスを考慮して剪定すること（お客様・依頼者も同じ考えと思います。）を肝に銘じ、剪定の神髄に一日でも早く迫れるよう研鑽して参ります。

剪定には高所作業が伴うこともありますが、安全管理には十分すぎるほど気をつけ、楽しいシルバー生活を送りた



したいと思います。最後に、講師を務めていただきました伊藤先生・事務局の方々・実習の材料をご提供いただきました障害者福祉センター・関係者の皆様方に心からお礼申し上げます。楽しい9日間、本当に有り難うございました。

保育・子育て
支援講習に参加して

(境港会場)

境港市

神崎和重



子どものことに携わるようになり、少しでも今の子供達について予備知識を得たいと考えていました。そのようなときに、広報誌に掲載されているのを見て、子どものものごとに関する知識全般・現状等理解するのに良い機会だと思い、六月二十四日から七月三日までの八日間、保育・子育て支援講習を受講させていただきました。

講習は毎回、講師の先生方の熱意溢れるお話しに時の経つのも忘れ、聞き入る



ことも度々でした。

保育・子育て支援とはなっていますが、講義の内容はとても深く、全体を通して良い学びの機会を与えていただくと同時に、自分自身を振り返るきっかけをもらいました。また、知らなかったことを知る楽しみ・喜ぶも久々に味わったように思います。

「絵本の読み聞かせ」のひとときは、大人になった私たちにも心地の良いものでした。

「離乳食づくり」では、時代の違いを痛感する場面もありました。新しい発見です。例えば、林檎を煮るとか、手づかみ食べ。

「救急・救命・応急処置」の実技を交えた講座では、AEDの取扱い方。

「コミュニケーションの基礎」は、ゲームを交えた楽しい遊びで、他の受講者の方々とも気持ちが一つになり、ぐっと距離が近くなったように感じた講習でした。

以上は、ほんの一部分ではありますが、視点或は切り口を変えることで、日々の何気ない営みがとても意味のあることに改めて気づかされた、大変有意義な講習内容でした。最後に、シルバー人材センター連合会・講師の皆様方本当に有り難うございました。



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

(平成21年8月1日現在)

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051	木島敏行
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	宇野治巳
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101	中林正樹
(社)境港市シルバー人材センター	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541	西村岩市
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	田子 貢
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	小林實夫
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512	谷口幹彦
(社)湯梨浜町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	足立春人
(社)琴浦町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1004	足立慎夫
(社)北栄町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227	日置勝彦
(社)大山町シルバー人材センター	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0858-53-1310	林原彦一
(一社) 八頭町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3351	衣笠春寿
江府町シルバー人材センター	689-4413	日野郡江府町州河崎62	0859-75-3211	0859-75-3211	宇田川勉
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0870	0859-74-0365	瀬田寿幸
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-0223	山浦基治
三朝町シルバー人材センター	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883	馬野忠嗣

表紙のことば

「小泉のわさび田」

中国地方最高峰・大山の東の麓に広がる鳥取県倉吉市関金町。深い緑に囲まれた谷間に、わずかに四軒の小泉地区があります。

住民たちは、一〇〇年以上前から、湧き水や沢を利用してワサビの栽培を行ってきました。

ワサビは年間を通して水温の低い、きれいな水でしか育ちません。先祖伝来のワサビ田を守る小泉地区で「命の源泉」ともいえる大山の湧き水とともに生きる人々の暮らしを見つめます。

あとがき

今回も、関係各位のご協力によりまして第二十一号が発行できました。まずもって、厚くお礼申し上げます。

一昨年からの不況の余波が依然として残っており、特に鳥取県では回復の兆しが見えてきておりません。中小企業の倒産も減る傾向がなく、それと相まってシルバー事業の受注も年々減少しているのが実態です。

そんな中、少しでも受注の向上を図るため、連合会とセンターが連携をもって、知恵を出し合い、この難局を乗り切っていきたいと思っております。

会報 鳥取 第21号
平成21年8月1日 発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0812
鳥取県米子市角盤町1丁目76

電話：0859-37-2531
FAX：0859-37-2537

印刷：(有)ニシキ印刷
鳥取県米子市灘町3-150

電話：0859-32-2250